

なくてはならない存在へ これからの自販機のめざす姿です

災害時にお役に立ちます 例えば災害情報を発信する自販機

ふだんはニュースなどが流れている電光掲示板。
地震などの災害時には、
リアルタイムな災害情報にスイッチ、
心強い情報入手先として活躍します。
また、災害時に商品を無料提供できる
自販機もあります。2007年の
能登半島地震でも、この機能が多くの
方のお役に立ちました。



災害時に商品を
無料提供できる
自販機も

お近くの自販機を見れば 住所がわかります

事故などに遭遇し、携帯電話で連絡したい。でも、
今いる場所がわからない。こんな時、あわてず近くの自販機をご覧ください。
現住所を示す「住所表示ステッカー」が貼られています。
身近な清涼飲料自販機だからこそ可能な、
社会貢献のひとつです。

この住所は

千代田 市 区 町 村

1丁目 2番 3号

■ 住所表示ステッカー

自販機でちょっといいこと 清涼飲料を買うと募金ができます

ノドをうるおしながら、小さな社会貢献に参加できる自販機も
各地で登場しています。
商品を購入すると、
その代金の一部が環境保全や
様々な支援活動に充てられます。
わざわざではなく、
いつでも気軽に募金ができます。



街角の自販機が 子供たちの通学路を見守ります

通学路にある自販機にネットワーク対応の
カメラを設置し、児童の登下校を見守ります。
一部では、携帯型の防犯用ICタグと
自販機のセンサーを連動させ、
「位置確認」や「緊急通報」を
行う実験も行われています。

